

# 浅緑燃ゆる

(昭和二十二年第四十回記念祭歌)

山家貫之君 作歌  
堀井洵君 作曲

## 一

浅緑燃ゆる北の曠里  
荒ぶ嵐を身に受けて  
神秘の扉開け放ち  
雄叫び高く濁世に  
叱咤の剣を振るふかな

## 二

沈黙の榆林のほの暗く  
友と高望を語りてし  
三年の夢は淡くとも  
羽搏かんな大鳳は  
アンデスの嶺越えゆかん

## 三

ソロモンの栄華すでになし  
血涙もて築きし幾春秋  
花を褥に仮睡めば  
春駘蕩の微風の香に  
私語く永遠の理想かな

## 四

北斗の啓示なほ清く  
今宵四寮に輝けは  
猛き遊兎の熱血は  
ナイルの河のなほ浩く  
乱れし世をば呑みほさん

## 五

青史は薫る七十星霜の  
崇高き歴史を承継ぎて  
明日創造の首途に  
今日四十回の記念祭  
浩歌はんな吾が友よ